実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
厚木市	南毛利地区	令和4年10月1日	令和5年4月1日

1　対象地区の現状

①地区内の耕地面積	155ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	86ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	44ha
ⅰ　うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	27ha
ⅱ　うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	2ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	3.53ha
（備考）	

2　対象地区の課題

市街化区域が近いなどの問題があり、水路や農地の整備が必要との意見が多い。
また、農地のマッチングや農地流動化奨励金をはじめとした農地集積への取組によって農地の貸付が進んでいるものの、話し合いの結果では農地の引き受けやマッチングに対しての要望が比較的多くなっている。

3　対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

当地区は、中心経営体となっている農家が多く、農地の引き受けの意向も複数の中心経営体が希望しているため、それらの中心経営体に農地の集約化を進める。

（参考） 中心経営体

属性	農業者（氏名・名称）	現状		今後の農地の引受けの意向		
		経営内容（作目）	経営規模（ha、頭数等）	経営内容（作目）	経営規模（ha、頭数等）	農業を営む範囲
認農	A	施設野菜	0.61 ha	施設野菜	0.61 ha	南毛利地区内
認農	B	施設野菜	0.83 ha	施設野菜	0.83 ha	南毛利地区内
認農	C	施設野菜	1.1 ha	施設野菜	1.1 ha	南毛利地区内
認農	D	稲作＋雑穀＋露地野菜＋果樹類	1.5 ha	稲作＋雑穀＋露地野菜＋果樹類	2.4 ha	南毛利地区内
認農	E	稲作＋露地野菜	6.6 ha	稲作＋露地野菜	7.1 ha	南毛利地区内
認農	F	施設花き	0.31 ha	施設花き	0.41 ha	南毛利地区内
認農	G	果樹	1.8 ha	果樹	1.8 ha	南毛利地区内
認農	H	稲作＋露地野菜	1.2 ha	稲作＋露地野菜	1.3 ha	南毛利地区内
認農	I	酪農	2.2 ha	酪農	2.2 ha	南毛利地区内
認農	J	落葉果樹＋露地野菜＋稲作	2 ha	落葉果樹＋露地野菜＋稲作	2.35 ha	南毛利地区内
認農	K	露地野菜＋稲作	0.69 ha	露地野菜＋稲作	0.79 ha	南毛利地区内
認農	L	露地野菜＋果樹類＋稲作	2.3 ha	露地野菜＋果樹類＋稲作	2.5 ha	南毛利地区内
認農	M	稲作＋露地野菜＋施設野菜	1.55 ha	稲作＋露地野菜＋施設野菜	1.75 ha	南毛利地区内
認農	N	露地野菜＋稲作	10 ha	露地野菜＋稲作	11 ha	南毛利地区内
認就	O	稲作＋施設花き	0.2 ha	稲作＋施設花き	0.28 ha	南毛利地区内
認就	P	露地野菜＋露地果樹	0.6 ha	露地野菜＋露地果樹	0.6 ha	南毛利地区内
認就	Q	施設果樹	0.6 ha	施設果樹	0.6 ha	南毛利地区内
計	17 人		34.09 ha		37.62 ha	

注1：「属性」欄には、個人の認定農業者は「認農」、法人の認定農業者は「認農法」、認定新規就農者は「認就」、法人化や農地集積を行うことが確実であると市町村が判断する集落営農は「集」、基本構想水準到達者は「到達」と記載します。
注2：「今後の農地の引受けの意向」欄については、現状からおおむね5年から10年後の意向を記載します。
注3：「経営面積」欄には、プランの対象地区内における中心経営体の経営面積を記載します。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

農地の貸付け等の意向 貸付け等の意向が確認された農地は、1筆、793㎡となっている。
中心経営体への農地集約化の方針 中心経営体からの農地の引き受けの意向があるものの、水路をはじめとした農地整備の要望が強い地区であり、また、農地のマッチングに関しても要望が多い。今後、中心経営体へ農地を集積するにあたり、必要な農地の整備や貸付け等の希望を掘り起こすなど、農地集約化の研究を進める。

（参考） 農地の貸付け等の意向

	農地の所在（地番）	貸付け等の区分（㎡）		
		貸付け	作業委託	売渡
1	温水	793		
2				
3				
4				
5				
6				
	計	793	0	0